



◆奥飛騨温泉郷とは、岐阜県高山市の北部で文字通り飛騨山地の「奥」に位置し、日本の屋根といわれる北アルプスの槍ヶ岳、焼岳、穂高岳などの高峰に囲まれた大自然の中に点在する五つの温泉地（平湯、福地、新平湯、栃尾、新穂高）の総称です。



平湯トンネルを抜けると見える平湯温泉地区



夏祭りや春の播隆祭で舞う福地の「へんべとり」

古くから飛騨と信州を結ぶ峠道として利用された地域で、温泉郷の湧出量は全国屈指。露天風呂の数は日本一とも言われ、温泉郷の範囲が南北十数キロに及び標高差もあることから、景観、泉質もそれぞれ異なり、自然が織り成す五種五様の景観と温泉を楽しむことができます。

◆平湯温泉
乗鞍岳の北麓で、標高一、三〇〇メートルにある高原の温泉。
戦国時代に武田信玄が飛騨に侵攻した際、発見された湯と伝えられています。
四季折々に美しい平湯大滝（落差六四メートル）や、スッポン四万尾の養殖場などを見学することができます。関東方面から飛騨への玄関口として、上高地や北アルプスなどへのバス中継地となっています。

◆福地温泉
旧家を移築した宿が建つ、静寂どころか懐かしさを感じる温泉で、平安時代には天皇がお忍びで療養されたことから「天皇泉」とも称されました。
七〜八月に「昔話の里」の夏祭りとして「へんべとり」（無形文化財の獅子舞）を見ることができます。

◆新穂高温泉
雄大な山々が間近に迫る白樺林にホテルやペンションがあり、リゾート感のあふれる温泉。
北アルプスの槍ヶ岳・穂高岳への登山口でもあり、新穂高ロープウェイで標高二、二〇〇メートルまで空中散歩ができ、四季折々の北アルプスの景色が楽しめます。

◆栃尾温泉
庶民的で気取らない、アットホームな民宿が多い温泉。
高原川、蒲田川の合流部であり、溪流魚の宝庫でもあることから釣り客に大変人気があります。



郷土資料館に展示されている円空仏

◆新平湯温泉
素朴な民宿から近代的なホテルや和風旅館まで揃っており、温泉郷の中で最も規模の大きな温泉。
念仏僧円空がこの地に一年余り逗留したこともあり、素朴な「円空仏」が数多く残されています。

アクセス方法
・高山濃飛バスセンターより
平湯（一時間） 新穂高（一時間半）
・自家用車
東海北陸自動車道清見ICより 五二キロメートル
北陸自動車道富山ICより 六六キロメートル
長野自動車道松本ICより 四八キロメートル



奥飛騨温泉郷の露天風呂「新穂高の湯」



ロープウェイ山頂駅から見る「冬の西穂高岳」